

H23. 12. 3  
平成23年度院内感染対策講習会

## 石川県院内感染対策支援 ネットワーク会議について

金沢医科大学 臨床感染症学  
飯沼由嗣(副委員長、医師リーダー)

1

### ネットワーク会議の設置目的

院内感染対策に関する県内の**医療機関及び関係行政機関のネットワークを構築**し、医療機関が取り組む院内感染対策を支援するとともに、院内感染発生等の緊急時に医療機関の対応に対しの確な支援を行う

2

### ネットワーク会議の役割

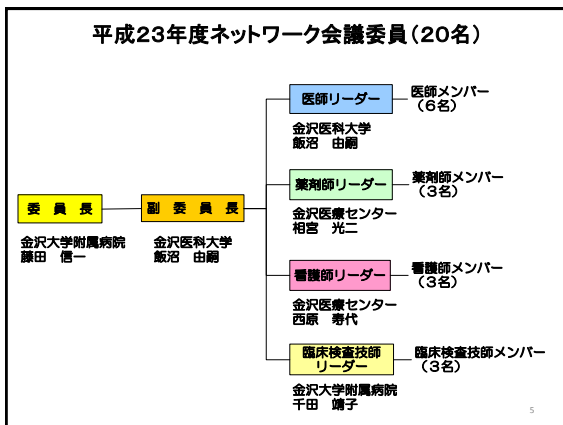
- ・ 県内医療機関が取り組む院内感染対策への支援
- ・ 院内感染発生等の緊急時における適切な対応及び再発防止への支援
- ・ その他県内医療機関の院内感染対策の向上に資する取り組み

3

### ネットワーク会議の構成

- ・ 院内感染対策に関する専門家(20名)  
 医師(インフェクションコントロールドクター)  
 薬剤師(感染制御専門薬剤師・感染制御認定薬剤師)  
 看護師(感染管理認定看護師)  
 臨床検査技師(感染制御認定臨床微生物検査技師・認定臨床微生物検査技師)
- ・ 関係行政機関の職員  
 県保健福祉センター、金沢市保健所  
 県保健環境センター、県健康福祉部医療対策課

4



### 平成23年度における取り組み内容

- 1 ネットワーク会議の開催  
年3回(8月、11月、3月)
- 2 実地支援の実施
- 3 相談窓口の設置
- 4 講習会の開催
- 5 情報発信  
ホームページで活動内容、会議・講習会の開催状況等を発信

6

## 病院の院内感染対策の実地支援

ネットワーク会議委員で編成する**実地支援チーム**を医療施設に派遣し、院内感染防止対策の取組みについて**実地で助言**

【支援対象施設】県内の病院

【実施病院数】4病院

2病院（11月に実施済） 2病院（12月に実施予定）

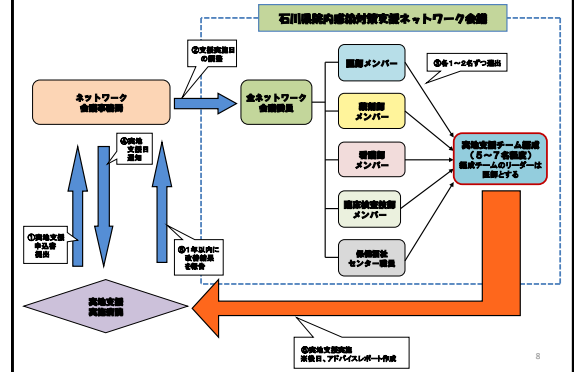
【病院の選定】公募（実地支援を要望する病院）

【支援体制】ネットワーク会議委員の医師（リーダー）・薬剤師・看護師・臨床検査技師よりそれぞれ1～2名程度、計5～7名で構成。

県保健福祉センター・金沢市保健所職員も同行

7

## 院内感染対策実地支援の流れ



8

## 実地支援の様子

院内をラウンドし、各現場での院内感染対策について確認するとともに、**随時アドバイス**する



9

## ラウンドの主な場所とチェックポイント(例)

### 【病室】

- ・手指衛生が適切に実施できる環境整備の状況
- ・手洗いシンの整備状況

### 【処置室・ナースステーション】

- ・患者に使用した針のリキャップの状況
- ・滅菌器材の保管状況
- ・回診車の管理状況

### 【汚物処理室】

- ・蓄尿の状況
- ・オムツ廃棄用のゴミ箱の管理状況

10

院内ラウンド終了後、病院側に対し、講評(評価・アドバイス)  
→病院側から院内感染に関する相談に応じる



実地支援後、派遣メンバーにより、**アドバイスレポート**を作成し、実施支援病院へ送付

実地支援の対象となった病院は、アドバイスレポートにより指摘のあった事項について、**病院の取組み状況及び改善結果**を、1年以内に**ネットワーク会議へ報告**

11

## 院内感染対策相談窓口の設置

医療施設等からの院内感染対策等に関する相談に対応する**相談窓口**を設置

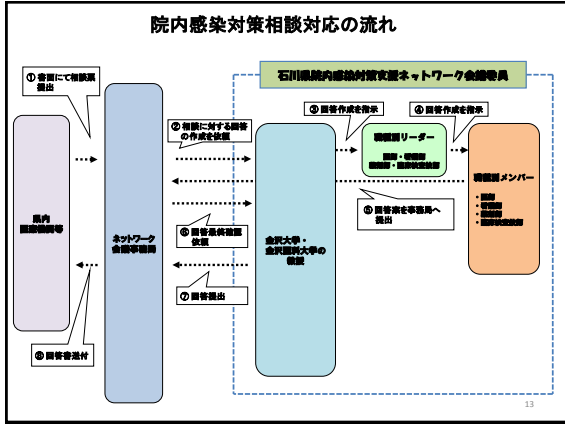
【相談受付】平成23年9月～

【対象施設】県内医療施設等

【相談方法】書面による(ネットワーク会議事務局で受付)

【回答体制】ネットワーク会議委員が回答作成

12



- ### これまでに寄せられた相談(例)
- 手洗い実習の評価方法とまとめ方について  
(看護師が回答)
  - サーベイランスの評価方法とまとめ方について  
(看護師が回答)
  - 針刺し事故のHIV検査の必要性、妊婦が針刺しをした場合のHTLVや梅毒検査の必要性について  
(看護師が回答)
- ほか
- 14

### ネットワーク会議ホームページより 石川県院内感染対策支援ネットワーク会議について

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/iryou/innaikansen.html>

15